

梅鶯仏教壮年会報

第186号
2024年
1月21日

1月例会

期日：1月28日（日）

時刻 5時～6時

プログラム

お勤め

法話

『浄土真宗のみ教え』

《美しき西方浄土》

ム孜賛次々昌

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

平和のために
たたかいが続く
なんと愚かなことか

（某寺院掲示板より）

われこそが正しいと
正義を振りかざすときに
争いが始まる

（質問）仏様は、凡夫である
と、お念仏を申す方。神様
は、私達の様々な欲望を叶え
てもらうためにただお願いす
る対象となる方。このようにす

は、仏様（阿弥陀様）の教え
るは、正しく受け止めておられ
る。一方で、神様に「欲望を叶
えてもらおう」とするの、は、
自分を中心とした世界で迷い
や悩みをさらに増幅すること
にもなり、あくまでも「煩
悩」の世界です。
縁起の世界からは、良い結
果を得るためには、やはり良
縁をもたらし自らの努力が必
ず（質問）仏教には「空」とい
う言葉があり、般若心経には「色
即是空、空即是色（しきそく
ぜくうくそくぜしき）」と出
てきました。空の意味合
いは分かっていますか。空の意
味は分かりますか。よう、難し
い言葉ですね。分かるように説
明

お釈迦様が示された仏教の
根本原理は「縁起」です。縁
起とはすべての存在は一つ
く、互いに因縁となりあ

す。「縁起」こそが仏教の中心
思想であり、「空の思想」は
「縁起」の一つの表現である
といえます。
言葉は、仏教經典「般若心
経」に書かれた一節で、物
の存在は「物質的現象」とは
「実体が現象には実体がな
く、物質的現象には実体がな
在する」という意味になりま
す。
「空の思想」を詳細に述べ
ることは出来ませんが、大事
なことは「お釈迦様が示され
た真理を理解しないことは救
われない」のではありません。
蓮如上人が御文章で「八万
の法蔵をしる」といふ人も、
世を知らざる人を愚者とす
たという一文、不知の尼入道
者という人も、後世をしるを
り、私達にとり「仰せの通
くのみ教を素直に聞かせて頂

題材法話

本年も総会を迎える
ことが、有難いこと
です。

親鸞聖人や蓮如上人
がお酒について語って
おられることを、皆さ

んなはあまり聞かずに
なつておられないで、
しよところから、今日そ
このところを少しお話

します。
○酒はこれ忘憂の名あ

が、まず親鸞さまです
書物の「口伝鈔」とい
れ忘憂の名（な）はこ

うほどこになぐさめて
るべし。さてこそとぶ
らひたるにてあれ」と

仰つてます。
「お酒というのよ」忘

憂「お酒を忘るのよ」忘
う名前はあります。これ

です。慰めて笑いが
どに慰めて笑いが



別離苦は悲しいが、
んなやがては安養の
土に常住できること

お話し、悲嘆が晴れ
よう。し、悲嘆が晴れ
い「と仰つてあげな

悲しけれどお話を
に悲しくなる人があ
なれば、その慰めは

ときには仰つて、う
ぎに「言はれて仰つ
が、一酒はこれ忘憂の

名（な）あり・忘憂の
と。いうお言葉なので

悲しみ、人が本當に
でいる時に、面しな
かご法義も伝わりな

いので、そんな時に
お酒でもすすめるの

良いで親鸞聖人は大
とで親鸞聖人は大

な味のあふれた大
驚きの文章で、

驚きの文章で、



書物の中で、「寒天に
は御酒等（ごしゆ）の

て、路次（ろし）の寒
さを忘られ候ふよう

冷やせと仰せられ候
ふ「蓮如上人のころ

訪ねて、こらる人た
も多し、お酒を「寒

差し上げ、道中の寒
も忘れたら、いなさ

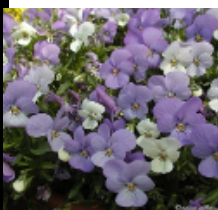
い。また、天の時に
お酒を冷やして、上

るが、です。配慮の
お言葉です。

ない、お酒の
仰つてます。

の、雨も降ります。

の、雨も降ります。



降るときは、おつとめ
いと、暑さのきびし

く終つて、お参りの
人たちは、蓮如上人

とです。蓮如上人とい
う方は、常に人の事、

相手のことを考へて
す。だか、分りま

し。活動ができたので
と。お酒に関し、大

変。それは、蓮如上人
作りの、毎月「文章

名に、毎月「文章の
中に、あります。

度の、寄合、毎月、
う、の、ため、の、

自身、往生、の、信、
を、得、する、ため、の、

す、よ、それ、に、酒、